

## 令和5年第1回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
1	22	新生会 後藤錦信	1 令和5年度市政運営について (1) 重点事項と予算編成について (2) 異次元の少子化対策について (3) シビックプライドの醸成について (4) デジタルトランスフォーメーションの推進について (5) 新本庁舎開庁による行政運営に期待することについて 2 公設日本語学校の開設について (1) 明確なビジョンと戦略について (2) 運営面における地域や関係団体等との連携について 3 第2次大崎市産業振興計画後期計画の推進について (1) おおさき産業振興機構の展望と課題について (2) 比較優位にある分野と成長させるための投資的事業構築の可能性について (3) スタートアップ促進事業の可能性について (4) 産業振興に寄与する人材育成について 4 誇りある農業の振興について (1) みどりの食料システム戦略に基づく本市の将来像と令和5年度における取組について (2) 令和5年度の需要に応じた米の生産取組方針について (3) 令和5年度以降の飼料用米栽培方針と対策及び多収穫品種への対応について (4) ささ結の作付面積増と輸出戦略の方策について 5 訪れたい観光の振興について (1) 鳴子温泉の魅力アップを図るためレジャー的要素を備えた施設整備について (2) 宿泊施設、共同浴場等温泉管理に対する支援について (3) 陸羽東線を基軸とした観光戦略と古川駅の再構築について 6 地域づくりの課題について (1) 担い手不足への対策について (2) 総合支所とまちづくり協議会の連携について 7 水害に強いまちづくりについて (1) 国直轄河川と県管理等の中小河川の治水対策に対する本市の認識について (2) 鳴瀬川ダムの早期完成へ総力を傾注することについて (3) 内水氾濫対策について 8 教育、子育てについて (1) 5歳児検診、またはそれに代わる仕組みづくりについて (2) 学力と体力の向上について 9 歴史的遺産の保存について (1) 現本庁舎前のクロマツ等の保存を願う市民の声があるが、どのように後世に伝えるかについて	90分
2	11	創新会 佐藤仁一郎	1 空き家対策について	75分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>(1) 市内でも空き家が年々増加している現状を踏まえ、空き家解消と利活用促進につながる支援策を拡充すべきではないか、所見を伺う</p> <p>(2) 広報周知の工夫や取組への考えを伺う</p> <p>(3) 移住、定住、交流促進を視野に、空き家をアーティストや学生等が利用できる地域交流拠点にリフォームし、定住、交流人口の増加につなげる考えはないか、伺う</p> <p>(4) 空家等利活用事業を創設し、営利を目的としない集会、交流施設、体験、学習施設、その他地域の活性化に資する施設として、賃貸借契約に基づく事業を継続した場合に、改修費用を補助する制度等への考えはないか、伺う</p> <p>2 職員人材育成について</p> <p>(1) 起業的視点を持つ職員育成を図るため、本市で課題となっているテーマを設定し、実態把握、分析、先進事例の調査や新施策提案等を行ってはどうか、所見を伺う</p> <p>(2) 自治体D X推進の観点から、外部人材を登用、活用するとともに、職員が民間事業者と連携しながら資質や能力を高めることへの考えはないか、伺う</p> <p>(3) 技術系職員の不足が指摘されており、早期の災害復旧対応が求められる際などに、職員不足により対応の遅れが生じている。技術系職員の養成及び採用増が求められているが、所見を伺う</p> <p>3 ICT活用による業務向上と広報及び情報周知について</p> <p>(1) 1月に会派で調査視察に伺った栃木県宇都宮市では、市道や河川の危険箇所等の状況把握を、職員パトロールや市民からの電話通報などにより確認し修繕を実施していたが、早期発見と情報収集、また職員の業務負担軽減のため「市民通報システム・宮ココ」を導入し、スマートフォン等の端末から該当箇所の写真と位置情報を通報することで早期対応に努めている。広大な面積を有する本市においても、業務効率化や早期対応を図るためにもぜひ導入する考えはないか、所見を伺う</p> <p>(2) 市ウェブサイトは、必要な情報の収集や見やすさの点からも分かりにくいとの声が多いが、情報提供や見やすさの観点から検証し更新する考えはないか。 また、SNS活用の点でも単なるリンクの情報提供であり、市民からの意見や提言を募るなど、広報や情報周知、市への関心、興味を向上するための取組への所見を伺う</p> <p>(3) 災害時の情報提供及び更新や発信について、その効率性を考えマップアプリや災害情報アプリを導入して、市民に正確で迅速な情報を提供するための事業を早期に実施すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>4 部活動の地域移行について</p> <p>(1) 部活動の地域移行について、スポーツ庁と文化庁においては、令和4年12月付でガイドラインを公表し、指導者や運営団体が確保できないなどの懸念が広がってきていることから、令和7年度末までに地域移行を達成するという基本方針から、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>現を目指すこととした。なお、令和5年度からの3年間で 改革推進期間と改称しているが、本市における部活動の地 域移行に関する所見を伺う</p> <p>5 大崎市公共施設等総合管理計画個別施設計画について</p> <p>(1) 三本木公民館は、総合支所の有効活用策が示され、その 機能は、三本木総合支所庁舎内に移ることが示されてい る。現施設は通称「館山ホール」として、地域住民に親し まれるとともに、使いやすい施設として地域外からの利用 者も多い。公民館機能は廃止される方向とのことである が、利活用策を検討すべきではないか、所見を伺う</p> <p>(2) 公設集会所の地域譲与の方針が示されている。対象とな る地元行政区長への説明会を行ったと聞かすが、譲与に向 けた方向性の考えを伺う</p> <p>6 子ども医療費の助成拡大について</p> <p>(1) 令和4年10月から、子ども医療費について大崎市ではそ の対象を18歳まで拡大し、さらには所得要件についても 緩和を行ったが、現状について所見を伺う</p> <p>(2) 令和4年度は年度途中からの政策実施であったが、令和 5年度は1年間分の予算が必要となってくる。その財源の 見通しについて所見を伺う</p> <p>(3) 少子化による人口減少は、今後急速な勢いで進展してい くと思われるが、将来の対象者見通しについて所見を伺う</p> <p>7 大崎圏域の医療提供体制構築について</p> <p>(1) 大崎地域全体の医療提供体制構築のため、夜間急患セン ター機能を含む地域医療連携拠点施設の整備に向けた今後 の政策展開について所見を伺う</p> <p>8 大崎市民病院事業について</p> <p>(1) 質の高い医療提供へ向けて、市民病院本院においては、 昨年、手術支援ロボットのダビンチが導入されたが、現状 と今後の展開について所見を伺う</p> <p>(2) 高齢化社会の進展は、今後ますます加速化し、市民病院 分院の地域包括ケア病床の重要性は高まっていくものと考 えられるが、現状と今後の展開について所見を伺う</p> <p>(3) 市民病院における、原油価格高騰に伴う光熱水費増加へ の対応状況と今後の見通しについて所見を伺う</p> <p>(4) 質の高い医療提供体制の構築のためには、職員の働き方 改革の推進とともに、医師、看護師、検査技師、助産師な どの資質向上は欠かせない。職員の資質向上に資する取組 として、連携協定を締結している愛媛県宇和島市の市立宇 和島病院などと、新型コロナの状況を見据えながら人事交 流等を活発に行うべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>9 大崎市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用を 促進する条例について</p> <p>(1) 令和元年6月定例会において、議員提案により本条例が 制定されたが、政策展開の現状と今後の取組について所見 を伺う</p> <p>10 子育て支援施設の充実について</p> <p>(1) 大崎市は幼児（特にゼロ歳児から2歳児）を安心して遊</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>ばせることができる施設が少ないという声が多い。各基幹公民館など既存公共施設の一室を遊び場として確保し、常設の子育て支援施設として運営することはできないか、所見を伺う</p> <p>(2) 特に子育て世代から公園の数を増やして欲しいという声がいまだに根強い。既存公園に設置している遊具の更新や撤去、そして用地の確保等の課題もあるが、現在の公園数で足りているとの認識なのか、所見を伺う</p> <p>11 大崎市の観光振興について</p> <p>(1) 大崎市観光振興ビジョンに係るアクションプラン（案）が示されたが、その作成の狙いについてはどうか。 あわせて、その効果の検証をどのように行っていく予定なのか、所見を伺う</p> <p>(2) このアクションプランの内容は抽象的なものが多く、具体案が見えずに努力目標的な表現が多い。定説的なことだけでは実現への道のりは険しいと考えるが、どのようにして各取組を行い、市民、観光事業者、農林商工業者、観光関係団体などに具体的なアクションを起こしていただく考えなのか、所見を伺う</p> <p>(3) 令和4年に産業常任委員会で視察に伺った岐阜県下呂市では、観光地域づくり法人（DMO）である下呂市DMOを設立し重要な役割を果たしていたことから、大崎市でも設立する意義が大きいと感じたが、観光DMO設立の考えについて所見を伺う</p> <p>(4) この観光DMO設立の考えにもつながるが、鳴子温泉地域の観光振興推進に特化した地域おこし協力隊の登用について、観光事業者や関係団体、行政との橋渡し役として尽力していただき、鳴子温泉地域の活性化を目指しながら、観光振興を担う事務局的な役割を担う人材が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>12 JR陸羽東線の利活用促進について</p> <p>(1) JR陸羽東線を利用するにあたり、各駅から目的地に向かう2次交通の接続の悪さが課題となっているが、対策検討状況はどうか、所見を伺う</p> <p>(2) 2次交通の体制構築に向けて、観光、商業と連携した市内の交流推進を積極的に提案し、先導し続ける意向があるのか、所見を伺う</p> <p>(3) 市外からの誘客に向けた、魅力あるまちづくりが必要だが、それに向けた対策や施策の提案はあるか、伺う</p> <p>13 度重なる自然災害から地域を守る取組について</p> <p>(1) 多田川流域における排水機場は市内に7か所存在するが、その中でも、矢ノ目、高倉、三本木排水機場は、豪雨時に流入する水を排水しきれないことから、排水能力の高いポンプの設置を求めると考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 宮城県が1月に示した「一級河川鳴瀬川水系多田川圏域河川域整備計画第2回変更（素案）」の中に、高倉排水機場に流れる堅堀や、三本木排水機場に流れる長堀川の上流域整備において、県単事業完了後市に移管される改良区所</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
3	25	日本共産党大崎 市議会議員団 小沢和悦	<p>管の部分もあるが、弱体化した堤体や河道の強化策が盛り込まれていない。いつ破堤や決壊が起きるか不安でならないとの声が多く寄せられていることや、流域治水の観点からも抜本的改修を強く望むものであり、関係機関に窮状を訴え、さらなる整備や支援を求めるべきであると考えますが、所見を伺う</p> <p>(3) 上流部に改良区管理の水路を含む大江川の大江川排水機場付近には、大量の土砂や泥が堆積しており、早期にしゅんせつをすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(4) 現在進行中である国道 108 号バイパス整備の際、大江川に整備される新たな管渠の幅を最大限に確保するとともに、下流の水路についても整備を求めるものであるが、所見を伺う</p> <p>14 冠水、浸水被害について</p> <p>(1) 新江合川沿線の李塚地区にある中島樋管から鶴ヶ塚地区までの間、新江合川の下を貫通する水路が存在する。この水路内に土砂などが堆積し流下を阻害していることから、早期のしゅんせつが求められているが、見通しを伺う</p> <p>(2) 国道 108 号と J R 陸羽東線を横断する工事が計画されている李塚第 1 排水区管渠築造工事の整備見通しを伺う</p> <p>(3) 松山地域中心部の千石掘排水区管渠築造工事の進捗状況を伺う</p> <p>(4) 岩出山地域の砂川江では、氾濫した土砂が堆積し草も繁茂しているが、撤去作業の進捗状況を伺う</p> <p>15 道路整備の進捗状況について</p> <p>(1) 古川地域の小泉地区には、都市計画道路 5 路線の整備計画が存在し早期完成が求められているが、李塚新田線等の工事計画における進捗状況を伺う</p> <p>(2) 松山地域の下伊場野山王線は、工事着手から幾年も経過し早期開通が期待されているが、進捗状況を伺う</p> <p>1 今年を「新しい戦前」にさせないために</p> <p>(1) タモリさんが、新年は「新しい戦前になるかもしれない」と言っているが、市長はそういう危機感をお持ちか</p> <p>(2) 今急ぐべきは戦争準備ではなく、戦争を防ぎ、平和を守る東アジアの仕組みづくりだと政府に物申すことについて</p> <p>2 大崎市の「子育て支援」の一層の充実、強化について</p> <p>(1) 少子化対策は大崎市の存亡のかかった課題と認識しているか</p> <p>(2) 政府が実施した希望する子育て支援調査で「教育費の軽減」が 69.7%であり、学校給食の無料化への動きが県内の自治体に広がっているが、学校給食の無料化に市長は後ろ向きなのか</p> <p>(3) 就学援助の基準を世田谷区のように学校給食費は生活保護基準の 1.7 倍まで、他は 1.4 倍までと改善してはどうか。自治体判断で基準の見直しはできるのではないのか</p>	60 分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
4	14	改新クラブ 中鉢和三郎	<p>3 健康長寿を延伸する事業の展開について</p> <p>(1) 健康長寿を目指し、「聴こえくつきり事業」を始めることについて</p> <p>(2) 三本木パークゴルフ場の高齢者の入場料を、医療、介護に要する公費負担軽減効果につながるよう負担しやすい料金にしてはどうか</p> <p>4 大崎市農業の維持、振興策について</p> <p>(1) 「農業を続けたいが、今使っている農業機械が壊れたら、買換えしないで農業をやめる」という農家が少なくないため、「低額農業機械リース制度」等の実現に努力いただいているが、取組の到達点と実現の見通しについて</p> <p>(2) おおさき産業推進機構、大崎市産業支援のあり方検討会の目指す方向は、大崎市が持っている可能性を掘り起こす内発型の産業振興策であるが、大崎市の農林業振興発展につながるようにする観点、具体化の目標とする時期をどうお考えか</p> <p>5 「生活にお困りの方は、迷わず気軽にご相談ください」のポスター等での広報について</p> <p>(1) 生活に困ったときのためのセーフティネットとして、憲法に基づき生活保護制度があること、窓口がどこかを知っていただくため、人の出入りの多いコンビニ等でのポスター掲示、ネット広報を行うべきではないか</p> <p>(2) 生活保護制度に関する大崎市の広報は、生活保護の申請、相談をためらわせる文言になっていると改善を求めてきたが、改善されずにいる。「生活に困ったら、迷わず生活保護の相談を」や「生活保護申請は国民の権利です。ためらわず相談、申請においでください」となぜしないのか</p> <p>1 新年度予算について</p> <p>(1) 新年度予算へ名前をつけるとすれば、どのような名前か</p> <p>(2) 市長として、新年度に最も思いを込めている事業は何か</p> <p>2 財政規律について</p> <p>(1) 合併事業だった最後で最大の新本庁舎建設の完成後は、災害復旧等を除く普通建設事業に充てられる財源は限られたものとなるが、市民要望として都市公園等の公園、文化施設または交流施設としての道の駅等の整備への期待は大きい。財政規律を維持しながら、拡大し多様化する市民要望にどのようにして応えていくか、所見を伺う</p> <p>3 大崎市公共施設等総合管理計画について</p> <p>(1) 同計画の描く姿と現実との乖離をどのように埋めるのか</p> <p>(2) 公共施設等の維持管理レベルとして、雨漏り、機器の老朽化による故障等は受忍（甘受）すべきものなのか、所見を伺う</p> <p>4 DXについて</p> <p>(1) 新年度のDXに関する特筆すべき取組は何か</p>	60分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
5	10	NEXT 鹿野良太	<p>(2) 新設したデジタル戦略課の果たすべき役割と目指すゴールは</p> <p>5 消防団DXについて</p> <p>(1) 須賀川市で導入している消防団専用防災アシストアプリを、本市でも導入し消防団業務のDX化を促進すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>6 私立不登校特例校誘致について</p> <p>(1) 不登校特例校の必要性が増している昨今、ノウハウの充実している私立不登校特例校を本市へ誘致すべきと考える。市内の空き校舎（廃校）の利活用策にもなることから、前向きな調査検討をすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>7 地域公共交通について</p> <p>(1) JR陸羽東線の存続の見通しと、自宅から駅及び駅から目的地間の2次交通の充実の取組について伺う</p> <p>(2) 高齢化が進み、地域における公共交通が果たすべき役割が更に大きくなり、機能としてドア・ツー・ドアが求められる時代となってきた。きめ細かなサービスを提供するには、ICTを活用したMaaS対応の地域内交通が求められるが、本市の地域内交通は、現状からどのように発展させる考えか、所見を伺う</p> <p>8 再生可能エネルギーについて</p> <p>(1) ゼロカーボンシティ宣言を行った本市においては、2050年に向け、精力的に再生可能エネルギー導入を推進しなくてはならないが、具体的な取組について伺う</p> <p>9 少子化対策としての子育て支援について</p> <p>(1) 本市は周辺の市町村と比較し、子育て支援が充実していないとの声がある。客観的な事実かどうか。 もし、声が事実なら改善すべきと考えるが、所見を伺う。 もし、声が事実でないなら、正しく発信すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 市政を動かす大切な職員の人財育成について</p> <p>(1) スペシャリスト育成は評価できる。どのようなスペシャリストを育成し、大崎市にどのような貢献をして欲しいのか、伺う</p> <p>(2) 資格取得への支援も評価する。どのような資格を想定しているのか、伺う</p> <p>(3) スペシャリストを生かすジョブローテーションの在り方について所見を伺う</p> <p>(4) ボトムアップ型の政策立案や職員のモチベーション向上のためにも、上司とのコミュニケーション、職員間のコミュニケーションは大変で工夫が必要と考えるが、取組や工夫について伺う</p> <p>2 人口減少時代の子育て支援について</p> <p>(1) 子ども家庭庁が4月に発足するが、本市の子育て支援策</p>	45分

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
6	15	大志会 相澤久義	<p>に大きな変更はない。本市における出生数低下の要因分析及び今後の子育て支援策の見直しの必要性について伺う</p> <p>(2) 県北にない屋内遊戯施設の整備を検討すべきではないか、所見を伺う</p> <p>(3) 子ども意見の聞き方と反映をどう行うか、伺う</p> <p>3 産業力強化のために必要なことについて</p> <p>(1) これまで金融機関は融資だけではなく、事業者へ様々な支援も行ってきたが、産業振興機構の伴走型支援はこれと何が違うのか、伺う</p> <p>(2) これまで研究するとしていたデジタル地域通貨を本市ではどう評価しているのか、伺う</p> <p>(3) 市民所得アップに向けて、産業政策が担う責任について伺う</p> <p>4 デジタル技術で大崎市に新たな価値を</p> <p>(1) デジタル戦略課に期待をしているが、政策アドバイザーの役割と人選、また、他部署との連携をどのように行うのか、伺う</p> <p>(2) DAO（分散型自立組織）やNFT（非代替性トークン）の可能性をどう評価しているか</p> <p>1 地域公共交通について</p> <p>(1) 陸羽東線存続について</p> <p>ア 利用者の減少はモータリゼーションの影響が大きいようだが、存続又は廃止となった場合のメリット、デメリットをどのように捉えているのか、伺う</p> <p>イ 利用者増加策を伺う</p> <p>ウ 高規格道路石巻酒田間の整備促進に沿線市町議会議長間で協議が始まると聞くが、高規格道路石巻酒田間が開通した場合、鉄道より便利になると思われるが、考えを伺う</p> <p>(2) 各地域公共交通について</p> <p>ア 利用者、住民の声をどのように分析をして運営に反映しているのか、伺う</p> <p>イ 費用対効果と交通弱者への救済について伺う</p> <p>2 SDGs 持続可能な大崎市独自の産業政策、施策推進について</p> <p>(1) 土木、建設、建築、電気、設備業、業界の人材不足、人材育成について</p> <p>ア 若者に限らず人材育成に対しどう対応していくのか。このままでは数年後市内業者は廃業が危惧され、一方では大崎地域高等職業訓練校が仙台に統合されるが、これらの産業を担う技術者育成に大崎市ではどう取り組むか、伺う。</p> <p>また、大崎市でも同様に技術者採用に苦慮しているようだが、災害時等に対応できる技術者職員確保にどのよう</p>	45分



発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>に取り組むか、伺う</p> <p>(2) 持続可能な水田農業について</p> <p>ア 生産農家の高齢化、米価の下落、肥料、資材、燃料等の高騰により受託していた農地の返還や、それらの農地には新たな受託農家がなく苦慮していると聞く。このままでは圃場整備が進んでも対象区域外の未整備等の水田はどうか危惧している。</p> <p>巧みな水管理「世界農業遺産認定」の豊穰の大地「大崎耕土」は「大崎荒土」になりかねない。</p> <p>大崎市ではスマート農業等の推進や世界農業遺産に浮かれているが、何の恩恵のない末端の米農家は、ほとんどが赤字経営に苦しんでいるが、地域の水田を守り環境保全に努め、額に汗している末端の米農家は赤字覚悟で米作りを続けている。誇りある農業の持続発展のため未整備圃場や受託農家に対して大崎市独自の救済策について伺う</p> <p>(3) 持続可能な畜産農家について</p> <p>ア 先日のNHKの特番で酪農家を取り上げられていた。飼料高騰により9割の生産者が赤字経営で苦しく酪農家、畜産農家は「やめるにやめられない」現状。やめたら多額の負債。牛や農地を売り払ってもついてくる借金。飼料価格高騰はこれからも続くと予想されているが、畜産農家への救済策について伺う。</p> <p>あわせて、飼料高騰の中での子実用トウモロコシ作付拡大等について伺う</p> <p>3 SDG s 目標4「質の高い教育をみんなに」誰一人取り残さない豊かな教育を目指して</p> <p>(1) 全国で学校に行けない小中学生は平成30年は16万人。令和3年は24万人。大崎市内の小中学生は平成30年は225人、令和3年は338人であるが、そのうちの卒業生の進路について伺う</p> <p>(2) これらの児童生徒のタブレット学習状況について伺う</p> <p>(3) 大崎市内の小中学校の学校に行けていない小中学生の増加率は、全国、県よりも増加率が高く様々な支援策を講じているが、効果がなかなか見えない。</p> <p>さらなる支援策（指導員の拡大等、特例校の設置や各地域の空き施設を利活用した居場所づくりや「ものづくり」を身につける訓練等々）が必要と思うが、所見を伺う</p> <p>(4) 民生部門としての支援強化策についての考えを伺う</p> <p>(5) 支援学級、支援学校の児童生徒数より学校に行けていない児童生徒数が多いが、国・県に対し法制度の確立を要望、要請することについて所見を伺う</p> <p>4 空き家の解体について</p> <p>(1) 公営住宅解体（政策空き家）について</p> <p>ア 市内には政策空き家が目立つが、解体計画について伺う</p> <p>(2) 民間の空き家解体について</p> <p>ア 空き家の危険度の判定は誰が行い、所有者との協議はど</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
7	18	公明党 横山悦子	<p>のように行われているのか、伺う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市役所本庁舎開庁に伴う整備について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 暮らしやすい市民サービスの向上に向け、来庁者が申請書等を記入することなく職員の聞き取りやマイナンバーカードの活用などで、簡単に効率的に手続の申請ができる「書かない窓口」の導入検討の進捗状況について</li> <li>(2) 庁内において手続一括案内「お悔みコーナー」の設置について</li> <li>(3) 庁舎内の職員の職場集約による公用車管理の適性化について</li> </ol> </li> <li>2 子育て支援について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全ての児童館及び放課後児童クラブの民間委託と公立幼稚園の方向性について</li> <li>(2) 妊娠から出産、子育てに関し、ニーズに対応できる伴走型相談支援について</li> <li>(3) 3歳児の目の屈折検査の実施について</li> </ol> </li> <li>3 企業誘致について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市長として企業誘致のトップセールスについて</li> <li>(2) 三本木スマートインターチェンジ東部工業団地の誘致活動について</li> </ol> </li> <li>4 教育環境の整備について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 公立小中学校の上水道、手洗い時にあまりにも水が冷たいため温かくできないか</li> <li>(2) 公立小中学校の上下水道が凍結しないための対策について</li> <li>(3) i P a dの勉強時、ノートに書くことがあり、机が狭くi P a dを立てる机、または、広い机に変えることはできないか</li> </ol> </li> </ol>	30分